

どりーまあ通信

・ 第19号 2007年 8月発行 ・

◆特定非営利活動法人
どりーまあサービス

〒770-0855

徳島市新蔵町1丁目95番地フジビル5階

TEL 088-626-3237

FAX 088-611-7035

E-mail: npo@dreamer-service.org

発行責任者 山口 浩志

「武士の志」に学ぶ



理事長 山口 浩志

残暑お見舞い申し上げます。残る暑さがまだまだ厳しい中、皆様いかがお過ごしでしょうか。

世の中は相変わらず混沌の時代が続いておりますが、医療や福祉の世界でも国の施策と現場とのミスマッチは益々深まる一方で、舵取りにも温度差が現われているように思えてなりません。したがって、これまで以上に地域ごとのオーダーメイド化された施策やデザイン、また工夫が必要になってくるでしょう。

戦後間もない頃のわが国では、商いは商品があれば売れていたでしょう。しかし、次の時代では、いい商品が売れてきました。そして、今の時代はいかに売ることが決め手です。医療や福祉についても、地域の中でどこまでのサービスを、どのように提供していくかが問われているのではないかと思います。

司馬遼太郎氏の有名な著書『翔ぶが如く』の中に、「江戸期の武士の志」について書かれています。そこには、「人生の大事は志以外にない。世のためのみに自分の生命を用い、たとえ肉体がくだかれても悔やんではならぬ」とあります。今の私たちに欠けている「本物の覚悟」を説いている、尊い言葉です。

この教えを今一度胸にして、私たちはこれから地域のため、かわっていただいている人たちのために、「平成期のNPOの志」として磨き続け、「どのよう」にサービスを提供していくか」の視点を全身全霊で考えていきたいと思えます。

今後とも、多くの皆様方のご支援をよろしくお願い申し上げます。

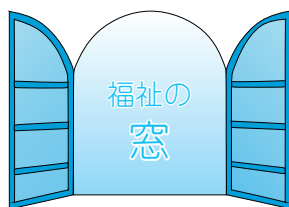
福祉サービスの評価、公表事業

より良いサービスの提供をめざして



徳島県社会福祉協議会 事務局長 上地 幸博

九十年代後半からの社会福祉基礎構造改革の取り組みにより、福祉サービスの利用は、契約による利用者の主体的な選択へと、大きな転換が図られました。「措置から契約へ」という言葉に象徴されるように、二〇〇〇年の介護保険法、改正社会福祉法の施行を契機として、利用者や事業者提供の対等な関係、契約にもとづく福祉サービスの利用が基本となり、これを支えるサブシステムとしての様々な仕組みづくりが進んでいます。



福祉サービスに関する

第三者評価事業や介護サービス情報の公表事業もこの一環として位置づけられています。第三者評価は運営上の基準を満たした上で事業者独自の取り組みを主眼におき、公表事業は事実確認をし、客観的な事実を情報提供するという点で、視点の相違はあるもののいずれも事業者と調査機関の協働作業にもとづく情報提供により、利用者の選択に資するものとして制度の活用が望まれています。

現在、県社協では認知症高齢者グループホーム等の外部評価事業を始め、児童福祉施設、障害福祉施設等の福祉サービス評価事業を徳島県から評価機関として指定を受け実施しています。事業者にとっては、評価を受ける過程での課題の共有、自己評価では把握できなかった課題への気づきや改善点の明確化、利用者の意向の把握等を行い、評価結果をふまえて更なるサービス向上への一助としていただければ幸いです。

又、介護サービスについても調査機関と公表センターの指定を受け、本年度は十二事業の公表を予定しています。これらの事業の充実により、福祉サービスがより身近で、誰もが必要な時に良質で適切なサービスが利用できる体制の充実を図っていきたいと思っております。

なお、評価結果等はインターネットで公開されておりますので是非一度ご覧下さい。

「また来てな！」の言葉が
自分の今の宝物です\(^o^)/

徳島市内で理髪店を三十年余り経営
されていた山口さんです。四年前に後
継者にお店を譲り、それからしばらく
家庭で主婦業にいらして、おられたよ
うです。しかし、ある時からこのまま
家庭にこもって人生を終わるのはいま
送られていた矢先に、知人から
の紹介で、三年前に「どりーまあ」
の協力員として参画していただい
ております。

協力会員

山口 玉子さん

最初は理容師の見習い時代を思
い出させるほどの緊張があったそ
うですが、いつも笑顔とやさしい
言葉かけを絶やさず、専門職顔負
っています。

「これまでも、末期癌の若い女性の
支援で心の支えになっていただいた
り、独り暮らしのご高齢者には草取り
や花の手入れなどのお手伝いをされ
たと、幅広く活躍中です。」
当の本人からは、「ふとした事がきつ
かけでこの活動に参加させていただき
ましたが、心の通い合うふれあい活動
を体験できているなあ、と体で感じ
ています。商売とは全く別世界に
入ったようで、自分自身の新しい発
見があったり、いろいろな事を学ば
せていただいております。」との謙虚
なお言葉でした。



新しい自分発見

「すごく信頼できる方で、
来てくれたら癒されます。」
けの接遇ぶりです。彼女と接
した利用会員さんたちから
は、「すごく信頼できる方で、
来てくれたら癒されます。」

福祉制度の中だけでは
支えきれない事はたくさん
あります。しかし、その
ための方法論は見えに
くい状況が続いており不
安な社会の印象は拭い
きれていません。

一方、地域の中には力
ある人たちがたくさん存
在します。すなわち、こ
のような人たちの力を借
りて、たすけあい活動の
1点で結びつく自由な空
間を生み出すことができ
るかが、これからの地域
社会を支える要となるで
しょう。

今回も、「どりーまあ」
たすけあい協力員として
活躍されている方たちを
紙面を通してご紹介さ
せていただきます。

協力会員
藤本さん

利用会員
稲垣さん

ふれあい活動実践

協力員の藤本さんは、かつ
ては隣の香川県で割烹料理
店を営まれていたそうです。
しかし年中身体を酷使しなが
ら働いてきたことが原因で、
四十五歳の時に大病を患い長
期間の療養生活を余儀なくさ
れたそうです。それ以降は地
元徳島へ戻り療養生活を送っ
ていたそうですが、回復して
からは、県内の銀行で嘱託職
員として働いたりしていたそ
うです。



このサービスは今の生活に欠かせない
エキスのようなものですネ！（稲垣さん）

一方、この日藤本さん
のお世話で眼科へ受診す
ることになったという利用
会員の稲垣さんですが、
現在徳島市内の病院に入
院されていますが、他科
への受診や家に外出で帰
る時は、誰かの支援が必
要で、藤本さんは、生活
の大切な橋渡し役になっ
ているようです。

このお二人の出会いに
改めて助け合いの力を感
じさせられました。

手帳の中は
毎日誰かのお世話で
一杯ですよ！
（藤本さん）

始まりでした。今では「どりー
まあ」での活動の他にも、毎
日誰かのお世話をすることが
ライフワークになって、常に
予定表は埋まっているそう
です。

看護スタッフの一員である石原さんは、かつて他県で看護師資格取得後、養護教諭資格を取るため徳島で一年間在住し、その後地元尼崎の病院で臨床経験を積み、結婚を機に看護の現場からはしばらく遠ざかっていましたが、その間もずっと看護職復

利用者 田村 友聖さん

看護師 石原 真弓さん



帰の夢はもち続けられていたそうです。
二年前に実母を在宅で看取った経験が契機となり、これからは在宅で看護をやってみたい、と決断され

看護

「看護の本質」に触れる

在宅 サプライズ

介護

ヘルパー 森永エミ子さん

利用者 田中 純子さん

ヘルパーを始めてからまだ約一年半足らずの森永さんですが、今でもヘルパー業の傍らピアノの先生もこなしています。ピアノ教師としてかわっている生徒さんは、四歳から八十五歳

ぶりに現われています。ピアノレッスンと介護という、全く異なる職種のように思ってしまうがちですが、ご本人にとっては、世の中のお役に立てる仕事、



85才の方のピアノレッスンは楽しいですよ！

という意味では共通しているそうです。
いつも森永さんからの生活援助サービスを受けておられる、田中さんも、森永さんについて「本当にまじめで気持ちのいい人です。こういう人が家にきてくれたら安心できますねえ／＼」と、絶賛です。
彼女のような、時代に合った心強いヘルパーさんが今後も現われてくれることを期待します。

世の中のお役に立てさせていたかくことが

これからの私の目標です

「どリーまあへ入職されました。しばらくブランクがある中での復帰で、いつも「みんなに迷惑をかけないように一生懸命やっているだけです。」と言いつつ、「いつの時代でも看護の本質は変わってはいけませんからね！」と力強く説かれます。

一方、彼女の看護サービスを受けられている田

村さんですが、本人のお母さんからは、看護師さんに自宅で見てもらうようになつてから、とてもはそれまで自分でできなかった手洗いやうがい、そして玄関の靴をそろえたり、という事が自然にできるようになり感謝しています。」とのお言葉です。そして、「時々私たち親の相談にものって

くれたりして、他の機関の手の届かないところをたくさん支えてくれていて、家族みんながお世話になれているようです。」とご好評です。
看護サービスを提供させていたかく中で、利用者さんのみならず、家族全体を支えている現場の様子に、「看護の本質」を垣間見た気がします。

認知症ケアの基本的理解 ～センター方式の視点から～

研 修 会

武道に「鍛錬とは千日の稽古を『鍛』とし万日の稽古を『錬』とす!」とありますが、介護や看護も常に学んでいなければなりません。本年も様々な研修を企画しておりますが、その中でいくつかの研修会の様子をご紹介します。

合同研修会を始めて早や5年になります。最初はコムスンさんとどりーまあとの二箇所だけで始めたのですが、今では企画する度に参加団体も増え、今回も十団体百名余り参加の研修会が開催できました。

今回は現場で益々ニーズが高まりつつある「認知症ケア研修」を行いました。講師には、県介護支援専門員協会会長を務めていらっしゃる大塚智子先生をお招きし、二時間

民間ヘルパーステーション合同研修会

にわたる中身の濃いご講義をいただきました。

ご講義のあと、参加者から現状の問題点や悩みについてたくさん質問が飛び交

い、大塚先生から一つひとつの質問に対して丁寧に応えていただきました。認知症に関するテーマは今後も継続して学んでいく必要があると改めて感じさせられました。

と き 19年4月19日
と ころ ふれあい健康館
講 師 徳島県介護支援専門員協会
会長 大塚智子先生



心

技

体

筋力向上リハの実践研修



と き 19年6月13日
と ころ 県立総合福祉センター
講 師 理学療法士 浅香京子先生

本年より、訪問看護単独の研修会を企画しております。その一環として、本事業所所属の理学療法士、浅香京子先生の方から、可動域訓練の実践について講義を受け、同時に技法を教わりました。

訪問看護の中には、このような運動療法が

必要な利用者さんがいですが、こうした専門的技術の研修を受け、現場で実践していくことは、スタッフの自信にもつながり、ご利用者さんに対しても質の高いケアへと結びつく事と思います。

19年度 どリーまあ研修プログラム

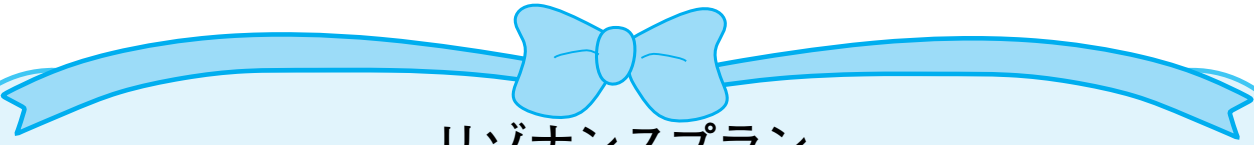
報告 レポート

こともの難病
 シンポジウム会場

また、逝く者は「希望」を持ち、

ジウムだと感じました。

物語りを紡いでいくそうです。亡くなった子供が自分に残してくれたものを見つければ、また子供が意味のある人生を送ったんだということを知り、残された者は自らの人生を創造し、悲しみの中にも生き抜いていくことができる。つまりは、亡くなった後も子供たちは親を支え続ける、ということ



リゾナンスプラン

どリーまあサービス5ヵ年計画～〈2007年～2012年〉

理 念

助け合いの精神に基づき、受け手と担い手との対等な関係を保ちながらサービス活動を行い、健康で安心して暮らしていくことができるよう、活力のある地域づくりに貢献する。

ビジョン

1. 高齢社会への挑戦

止まることのない高齢化に向け、いつでも安心して住み続けられるまちづくりの一役を担う。

認知症・ガン末期・難病・閉じこもり等、多様化する高齢社会問題に立ち向かっていくためにも、それぞれの分野について学習できる場を設け、専門職並びに地域住民とが連携しあえ、広く助け合いの理念が実践できる場を実現していく。

2. 難病患者の在宅支援体制

県内における難病患者数の増加とそれに伴う個々のニーズの多様化はめまぐるしく進んでいる。それだけに利用者の権利を守り環境を保護していく事は、十把ひとからげの対策は馴染まず、難病患者に対する疾患の理解を含めた生活ニーズを理解し、健全かつ柔軟な対応が必要となる。

そのためにも、行政や他団体（NPO等）、他事業所との連携を強化し、ネットワークを広げること、利用者が選べる環境を創っていく。

また、制度規制により患者・家族からは経済的・精神的に負担を強いられている現在、NPOコーディネーターの育成と強化に重点をおき、家族を含めたインフォーマル支援体制を強化する事で、活力と安心を生み出す。

3. 小児障害児を守る後方支援組織づくり

行政施策では、子育て支援体制の強化や地域での教育活動の整備等が謳われているが、実態は浸透しきれていない現状は否めない。特に重度の障害を抱えた児童及びその家族の不安は日々募るばかりである。

そうした中、地域で共に生活する立場として、障害児の人たちを支えていく対策として次の点をNPOとして強化していく。

- ①疾患の理解と啓蒙
- ②QOL向上を目指したライフプランの提言
- ③いつでも相談できる場づくり
- ④行政や他機関とのネットワーク構築

以上のことを目標にノーマラージョンの理念を現実のものとし、いつでもどこでも頼られる存在になる。

4. 地域住民との横断的役割

サービスニーズの多様化が進む中、NPOを含めたボランティア活動の関心は年々高まっている。そうした中、「活力ある地域づくり」を目指すためにも元気な高齢者層の人たちに在宅ボランティアを通していきがいのある生活を実現し、税金を使わなくても地域からの支援で目の前の出来事に対して、助け合えるしくみづくりを構築していく。

そのためにも、拠点団体としての整備づくりと人材発掘と人材育成に力点を置き、地域間の横断的役割を果たしていく。

具体的施策

- 1. 組織基盤の整備と充実
- 2. 認知症高齢者支援体制の強化
- 3. 小児障害児の支援体制の充実
- 4. 元気高齢者づくり事業の啓発
- 5. 利用者の権利擁護の実現とサービスの育成

3つの柱と予防活動

1. 介護部門

生活に密着したかわりによって在宅での「面」の役割を担っていく。

2. 看護部門

健康管理のキーパーソンとなり、介護と医療を結ぶ橋渡しの存在。ひとつの分野に止まらず広い分野での活動を地域で展開することができるため、後方支援部隊としてダイナミックに安心といきがいを届ける。

3. 相談業務（ケアマネジメント）

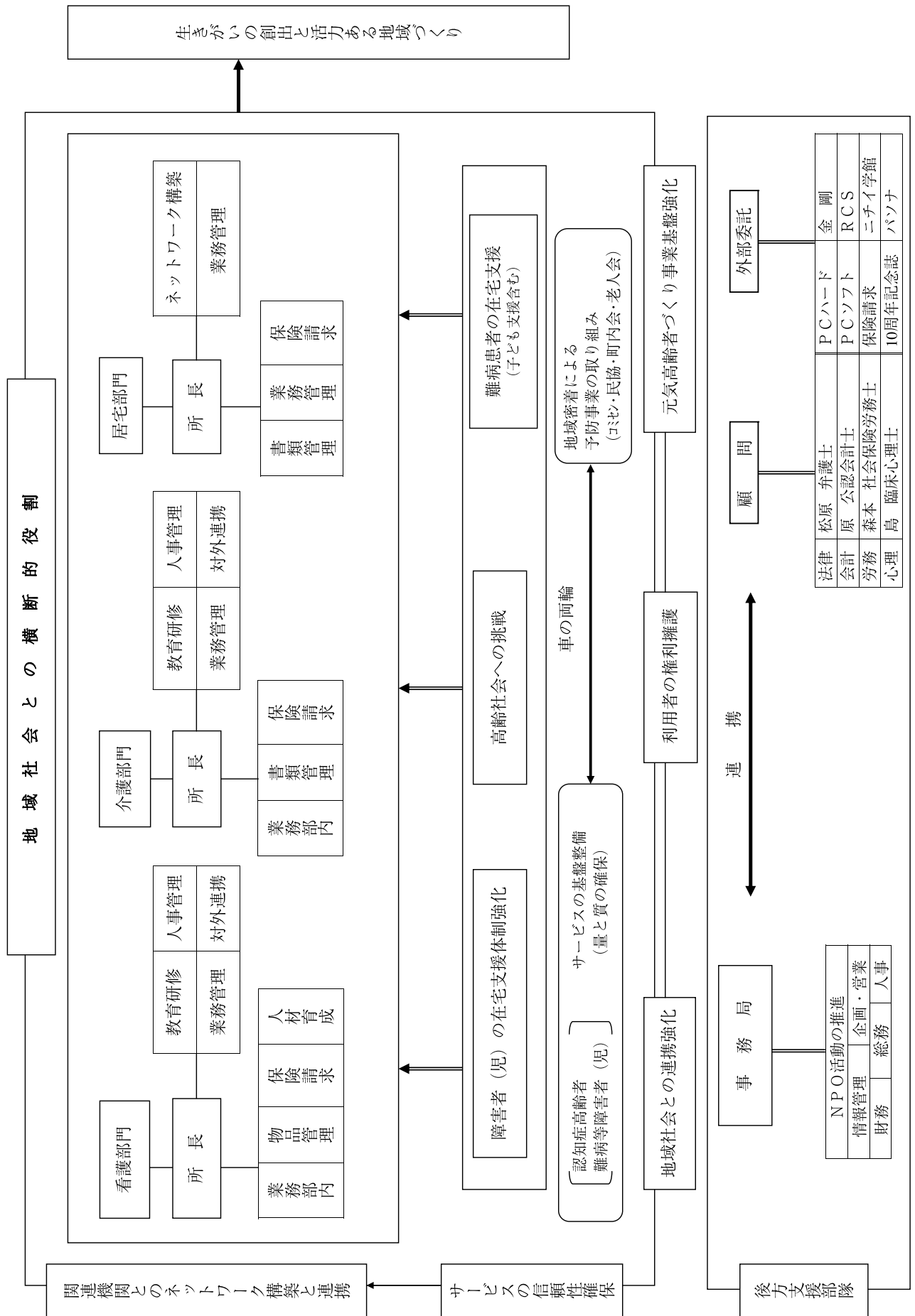
個と個、また個と資源とを点から線へ結び、地域から信頼が得られるようネットワークの拠点となる。

4. 予防活動

地域のコミュニティーセンターを拠点に展開し、自立した時からかわることで、ダイナミックな活動を進めていく。

このように様々なレベルに対応していけるよう、重層的な組織づくりを目指し、今後も豊かな未来に向けて地域の皆様の期待に応えていけるよう前進していきます。

《エグゼクティブ・サマリー》



活 動 報 告

会 議

- 4/2 ケアマネミーティング
(ケアマネスタッフ参加、於：どリーまあ事務所)
- 4/14 ヘルパーリーダーミーティング
(サブリーダースタッフ対象、於：どリーまあ事務所)
- 4/17 事務ミーティング
(事務作業効率化について、於：どリーまあ事務所)
- 4/20 運営会議 (各部署代表者参加、於：どリーまあ事務所)
- 5/1 会計ミーティング (原会計士相談、於：どリーまあ事務所)
- 5/7 ケアマネミーティング
(ケアマネスタッフ、於：どリーまあ事務所)
- 5/12 ヘルパーリーダーミーティング
(サブリーダースタッフ対象、於：どリーまあ事務所)
- 5/15 運営会議 (各部署代表者参加、於：どリーまあ事務所)
- 5/22 たすけあいミーティング
(介護計画書作成について、於：どリーまあ事務所)
- 5/23 訪問看護部門ミーティング
(利用者接遇について、於：どリーまあ事務所)
- 6/4 ケアマネ内部監査(書類の整備点検、於：どリーまあ事務所)
- 6/9 ヘルパーリーダーミーティング
(サブリーダースタッフ対象、於：どリーまあ事務所)
法人理事会 (於：割烹五十鈴)
- 6/15 運営会議 (各部署代表者参加、於：どリーまあ事務所)
- 7/9 経営改善会議(どリーまあ理事参加、於：どリーまあ会議室)
- 7/10 ケアマネミーティング
(月例訪問相談報告会、ケアマネスタッフ、於：どリーまあ事務所)
- 7/11 事務ミーティング(業務分掌の見直し、於：どリーまあ事務所)
- 7/13 訪問看護部門ミーティング (於：どリーまあ会議室)
- 運営会議 (各部署代表者参加、於：どリーまあ事務所)
- 7/14 ヘルパーリーダーミーティング
(サブリーダースタッフ対象、於：どリーまあ事務所)

対外活動

- 4/7 社会福祉士会理事会(山口参加、於：県立総合福祉センター)
- 4/26 当事者擁護ボランティア「ホップス」定例会
(山口、於：徳島市福祉センター)
- 5/19 徳島緩和ケア研究会年次総会及び基調講演
(山口参加、於：県立中央病院)
- 5/27 徳島県社会福祉士会総会
(山口参加、於：県立総合福祉センター)
- 6/1 徳島市地域包括支援センター運営協議会
(山口参加、於：徳島市役所)
- 6/6 地域密着型サービス事業外部評価調査員連絡会議
(山口参加、於：センチュリープラザホテル)
- 6/10 地域密着型サービス評価調査員フォローアップ研修
(山口参加、於：県立総合福祉センター)
- 6/18 県介護支援専門員協会業務委員会(山口参加、於：論田病院)
- 6/23 県社会福祉士会相談活動委員会勉強会
(講師：坂尾昇二先生、於：県立総合福祉センター)
- 6/27 ヘルパー就職説明会 (於：介護労働安定センター)
- 7/9 徳島市元気高齢者づくり事業沖洲地区 市議団視察訪問同行
(山口、於：沖洲コミセン)
- 7/21 県介護支援専門員協会オープン相談会
(山口参加、於：阿波市社会福祉協議会)
就職ガイダンス
(アイネット主催、山口・藤代参加、於：アスティ徳島)

内部研修

- 4/11 訪問看護部門リハビリ研修
(リハビリテーションコンディショニング、於：鴨島病院)
- 4/16 ケアマネ内部監査(書類の点検整備、於：どリーまあ事務所)
- 4/19 民間ヘルパーステーション合同研修会
(講師：大塚智子先生、於：ふれあい健康館)
- 4/20 リーダーシップセミナー
(講師：森本社会保険労務士、於：どリーまあ会議室)
- 5/9 訪問看護部門リハビリ研修
(呼吸リハビリの手法、於：鴨島病院、講師：田村英二 PT)
- 5/18 リーダーシップセミナー
(講師：森本社会保険労務士、於：どリーまあ会議室)

- 5/30 ケアマネ内部研修
(山口・藤代による各出張報告、於：どリーまあ事務所)
- 6/13 訪問看護部門リハビリ研修
(可動域訓練の実践指導、於：県立総合福祉センター、講師：浅香京子 PT)
- 6/22 ビジネスマナー講習会
(講師：福永由里子先生、於：どリーまあ事務所)
たすけあい研修会
(訪問介護計画書の立て方について、於：県青少年センター)
- 7/13 リーダーシップセミナー
(講師：森本社会保険労務士、於：どリーまあ会議室)
- 7/20 訪問看護部門リハビリ研修
(小児のリハビリ技法、講師：宮浦 OT、於：どリーまあ会議室)

外部研修

- 4/23 情報公表制度報告会
(藤代・有月・湊川参加、於：県郷土文化会館)
- 5/19 新任管理者研修
(社団法人訪問看護事業団主催、藤代参加、於：天満研修センター)
- 5/26 医療制度改革・後期高齢者医療制度と診療報酬改定セミナー
(山口参加、於：全国町村会館)
- 5/28 小松島市地域包括支援センター研修会
(湊川・山野参加、於：小松島市社会福祉センター)
- 5/30 ヘルパー就職説明会(山口参加、於：介護労働安定センター)
- 6/1 ガイドヘルパー養成研修
(平土・木内参加、於：県立総合福祉センター)
- 6/12 小松島市地域包括支援センター研修会 ～面接手法について
のDVD上映～(湊川・山野参加、於：小松島市社会福祉センター)
- 6/15 新卒予定者求人受理説明会
(ハローワーク主催、於：県郷土文化会館)
- 6/16 介護実践講習
(苦情処理の対応方法、山口・山星参加、講師：大塚智子先生、於：徳島介護実習普及センター)
- 6/20より
訪問看護師養成講座
(日本看護協会徳島支部主催、藤代参加、於：徳島市看護協会)
- 6/29 地域リハビリ研究会セミナー
(山口・藤代参加、於：徳島大学病院)
- 7/3 経営革新セミナー(山口参加、於：センチュリープラザホテル)
- 7/6より
在宅ホスピスケア研修
(日本看護協会徳島支部主催、渡部参加、於：徳島県看護協会)
- 7/7 こどもの難病シンポジウム
(難病のこども支援全国ネットワーク主催、藤代・森参加、於：順天堂大学有山講堂)
- 7/11 小松島市地域包括支援センター研修会 ～気づきの事例検討会～
(湊川・山野参加、於：小松島市社会福祉センター)
- 7/12 日本在宅協賛緊急セミナー
(山口・有月参加、於：文化の森21世紀館)

講師活動

- 4/19 徳島大学総合科学部「ボランティア論」講義
(山口、於：徳島大学常三島校)
- 4/26 徳島大学総合科学部「ボランティア論」講義
(山口、於：徳島大学常三島校)
- 5/16 ヘルパー養成講座講義
(山口、内容：サービス提供者の基本的視点、於：介護労働安定センター)
- 5/31 徳島大学総合科学部「ボランティア論」講義
(山口、於：徳島大学常三島校)
- 6/12 難病ボランティア養成講座講義(山口、於：鴨島保健所)
- 7/4 ヘルパー養成講座講義
(特定疾患の疾病の理解と援助方法、山口、於：徳島県労働福祉協議会)
- 7/5 ヘルパー養成講座講義
(サービス提供者の基本的理解、山口、於：介護労働安定センター)

その他

- 6/11 県立看護専門学院看護実習生受入開始
(28日まで、実習対象者 4 名)